

目黒区在宅医療・介護連携に関する研修会（6月15日）の様子

講義テーマ：「かかりつけ薬局との連携」

講師：中村 忍 氏（目黒区薬剤師会前会長／司生堂薬局 薬局長）

（講義の様子）



研修会には、医師・歯科医師・薬剤師・病院ソーシャルワーカー・訪問看護ステーション看護師・居宅介護支援専門員・訪問介護員・地域包括支援センター職員など73名の専門職の方々が集まりました。

参加者からは、「薬剤師の方の役割が良く分かりました。」「今後、服薬について、気軽に相談していこうと思います。」などの感想が寄せられました。

（多職種グループ討議の様子）

多職種グループでは、在宅療養されている方の薬のことで、これまでに困ったことや悩んだことを伝え合うとともに、上手く服薬できた成功例などを話し合いました。



（発表の様子）



各グループの発表者からは、「職種が違っていても直面している課題、残薬（飲み忘れ、いくつもの診療科受診、等）・自己判断で休薬する方などの問題は共通していることが分かりました。」「薬剤師の方が日々の業務で工夫していることが分かりました。」などの報告がありました。

薬剤師の方々からは「お薬カレンダーや一包化の工夫等、もっと薬局を活用して頂きたいと思います。」「在宅療養者の服薬の状態を把握するためには、多職種との連携は大切。薬局の仕事を理解していただけるような働きかけをしていかなければと思います。」などの感想がありました。